



おかやま

民俗芸能

フェスティバル

2020
秋

—令和2年度岡山県民俗芸能大会—



おかやま

民俗芸能

フェスティバル

2020
秋

—令和2年度岡山県民俗芸能大会—

令和2年 **11/22** 日

13:00~(開場 12:30)

特別史跡旧閑谷学校 講堂東広庭
(備前市閑谷784)

雨天時：岡山県青少年教育センター閑谷学校 プレイホール

演目等

- 備中神楽(高梁市)
- 大宮踊(真庭市)
- 日生甚九郎太鼓(備前市)

アトラクション

- 昔話の語り(岡山県語りのネットワーク)

解説：くらしき作陽大学 田中英機

観覧料 無料

ただし、史跡入場料必要(晴天時)

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、内容変更、中止となる場合があります。

[主催] 岡山県民俗芸能大会実行委員会

[共催] 岡山県教育委員会、備前市教育委員会、岡山県文化財保護協会

[後援] 高梁市教育委員会、真庭市教育委員会、(公社)岡山県文化連盟、(公財)岡山県郷土文化財団、beyond2020プログラム、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち

[助成] (一財)岡山県教育職員互助組合、令和2年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)

問合せ先

岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 TEL: 086-226-7601 FAX: 086-224-5591

E-mail: bunka@pref.okayama.lg.jp

問合せ先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局

TEL: 086-226-7601 FAX: 086-224-5591 E-mail: bunka@pref.okayama.lg.jp

がんばろう 岡山! —復興へ 心つなげて—

演目・出演団体紹介

びっ ちゅう かぐ ら 備中神楽

なり わ びっちゅうかぐら いく せい かい
成羽備中神楽育成会 / 高梁市

備中地方に伝わる神楽で、昭和54年(1979)に国の重要無形民俗文化財に指定されています。古くから舞われる神事色の強い荒神神楽と、江戸時代の神官 西林國橋が記紀神話を基に作り上げたストーリー性豊かな神代神楽で構成されています。神代神楽は、「岩戸開き」「国譲り」「大蛇退治」の三篇からなっており、いずれも勇壮な舞とユーモラスな掛け合いが魅力です。本日は、神代神楽の「大蛇退治」を、地域の子どもたちが披露します。



アトラクション

むかし ばなし かた 昔話の語り

みんな こと
民話くらぶかぜっ子 / 岡山県語りのネットワーク

遠いほらかな昔から語り継がれてきた民話(昔話)は、人々に生きる力を与えてくれるものです。岡山県語りのネットワークは誕生から12年になります。今では30団体、約300人の会員が、語りという我が国の伝統文化の継承と発展を目指して日々活動しています。



民話くらぶかぜっ子は、東備地区を中心に活動し始めたばかりのグループです。民話を語ることが大好き、民話の楽しさをより多くの人に伝えたいーそんな思いで集まりました。

おお みや おどり 大宮踊

おお みや おどり ほ ぞん かい
大宮踊保存会 / 真庭市

大宮踊は、岡山県の最北部に位置する蒜山地方に伝わる盆踊りです。毎年8月13日から19日のお盆の間、蒜山地方の神社や寺院、辻堂などで踊られます。なかでも15日の夜に福田神社(別名大宮様)で催される踊りが一番盛大なことから、その名が付きました。県下三大踊りの1つに数えられ、平成9年(1997)に国の重要無形民俗文化財に指定されています。また今年、ユネスコ無形文化遺産への登録提案が行われており、その実現に大きな期待が寄せられています。



ひな せ じん く ろう だい こ 日生甚九郎太鼓

ひな せ じん く ろう だい こ ほ ぞん かい
日生甚九郎太鼓保存会 / 備前市

昭和63年(1988)『日生甚九郎太鼓』として発足しました。子どもたちの健全な育成を目的とした子どもだけのグループ「海童」もあり、一生懸命また楽しく練習に励んでいます。日生甚九郎太鼓は海や自然をテーマにした曲を主に演奏しています。地域の自然やそこに暮らす人々のいぶきを感じていただければと思います。

